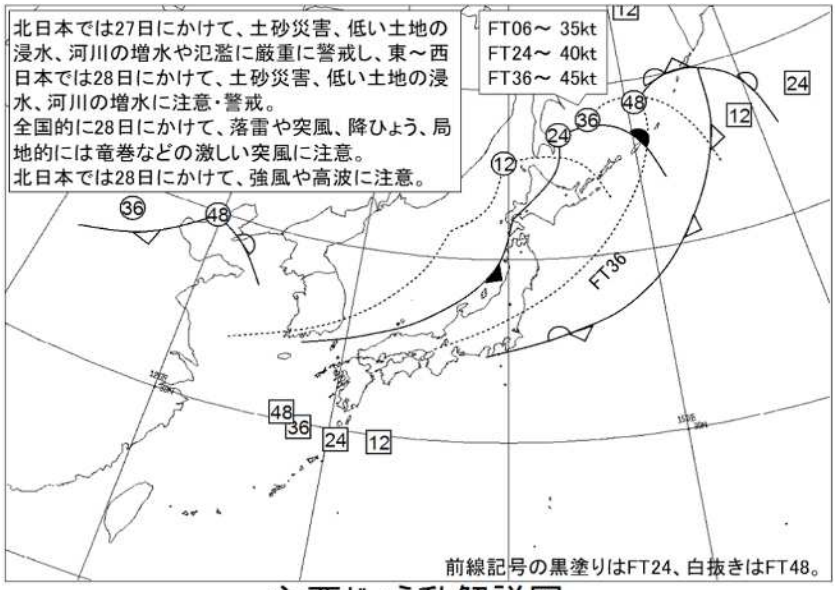
短期予報解説資料　２０２５年８月２６日１５時４０分発表

気象庁

１．実況上の着目点

① 500hPa 5820m付近で-9℃以下の寒気を伴うトラフに対応して、低気圧が日本海北部を東北東進し、温暖前線が宗谷海峡付近に、寒冷前線が黄海にのびている。前線近傍では活発に発雷し、北海道地方では、土砂災害警戒情報を発表している所がある。宗谷地方豊富では24時間降水量が150mmを超えるなど、極値を更新中。
② 高気圧が日本の南をゆっくり西へ移動。本州付近では晴れて気温が上がり猛暑日となっている所がある。一方、雷を伴い激しい雨が降っている所もある。



主要じょう乱解説図

２．主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 1項①のトラフと500hPa 5700m付近で-12℃以下の寒気を伴うトラフが、27～28日は位相を揃えて北日本を通過する。地上の低気圧は発達しながら東北東進し、27日にかけて宗谷海峡付近を通ってオホーツク海に進んで閉塞し、28日は千島近海に進む。これに伴い、寒冷前線が27日から28日はじめにかけて日本海から本州付近を南下する。前線や低気圧に向かう下層暖湿気と上空寒気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴い激しい雨や非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。北海道地方では、既に大雨災害の危険度が高まっていることに留意。北日本では27日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒、東～西日本では27日は注意・警戒し、落雷や突風、降ひょう、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。北日本では28日にかけて、強風や高波に注意。
② 1項②の高気圧は、27日にかけて東シナ海に中心を移し、その後停滞。28日は、500hPa 5880m以上の帯状の高気圧が華中～日本の南～日本のはるか東を広く覆う。これらの高気圧に覆われ、東北地方では27日にかけて、西～東日本では28日にかけて、晴れて気温が上昇し、猛暑日となる所がある。熱中症などの健康管理に注意（熱中症警戒アラート参照）。日中の昇温や高気圧縁辺を回る下層暖湿気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴い激しい雨や非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。東北地方では27日にかけて、東～西日本では28日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風、降ひょう、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
③ 2項②の高気圧縁辺を回る下層暖湿気や28日に沖縄地方に接近する上層寒冷低気圧の影響で、大気の状態が不安定となる所がある。南西諸島では28日にかけて、落雷や突風、短時間強雨に注意。

３．数値予報資料解釈上の留意点　総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

４．防災関連事項［量的予報等］① 雨量(18時からの24時間)：北海道・東北150、九州北部120、東海100mm。② 波浪(明日まで)：北海道4m。③ 高潮(明日まで)：大潮の時期。西～北日本では、注意報基準を超過する所がある。

５．全般気象情報発表の有無　「大雨と雷及び突風に関する全般気象情報」を17時頃発表予定。

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。